

平成31年 4月 7日
執 行

群馬県議会議員選挙(前橋市選挙区)選挙公報

群馬県選挙管理委員会

プロフィール

前橋市前箱田町在住
好きな言葉：感謝 趣味：お神輿、温泉めぐり
1982年 農家の長女として生まれ、幼少時代を千葉県匝瑳市で過ごす。
中学ではバレーボール部、高校では少林寺学芸部に所属。
2005年 司法試験に合格。
2006年 中央大学法学部法律学科を卒業。前橋地方裁判所で司法修習。
2007年 群馬弁護士会に登録。前橋市内の法律事務所に勤務。
2011年 群馬県議会議員(現在2期)
公益社団法人前橋青年会議所会員、前橋中央倫理法人会会員、
前橋東ロータリークラブ会員、ぐんま女性議員政策会議会員など

小川 晶 akira-o.jp

私たちの暮らしが
輝く政治を。
小川 あきら



女性の立場でハッキリ言います!

かかあ天下の群馬県ですが、県議会には定数50人のうち、女性議員は2人しかいません。県議会に女性の声を届けます!

知事に対してもズバツと質問します!

知事に対して対等な立場で、行政運営をチェックするのが県議会の役割です。知事に対しても厳しく追求してきました。

弁護士としてしっかり守ります!

議会の中でも子供の貧困や児童虐待問題、犯罪被害者の支援など「人権」にかかわるテーマに積極的に取り組んでいます。低所得者、低年金のお年寄り、1人親家庭、貧困家庭の子どもたち、障害や難病をお持ちの方々に光を当て、一人ひとりの人権や暮らしを守るのが政治の責任です。

ズバツ!

しっかり!

ハッキリ!

一緒に考えよう!
私たちの住む町のこと

弁護士
日本弁護士政治連盟
群馬支部推薦



小川
あきら
36歳

中沢文一の経歴

前橋市上佐島町
S23年10月20日に生れる
S42年県立勢多農林高校卒業
S46年東京農業大学卒業
S52年群馬経済連連職(全農ぐんま)
S60年前橋市議会議員当選(2期)
H3年群馬県議会議員当選
H17年群馬県議会副議長
H19年群馬県議会議長
H30年群馬の雇用戦略特別委員会委員長
自由民主党群馬県連副会長



歩いて、聞いて、応える

中沢文一の取り組み

“子供に夢を” “若者に希望を” “お年寄りに安心を”

障害者、地域づくり 人づくり

- 手話言語条例の推進
- 障害者スポーツの推進
- 障害者の就労支援
- 地域力の強化
- 6次産業の推進
- 農林業振興“野菜王国”群馬ブランド力の強化
- 県産材流通の改革促進
- 働く女性の活躍推進
- 子育て支援

安心で安全な 暮らしづくり

- 医師、看護師、介護人材の確保
- 前橋日赤病院の跡地利用
- 歩道、通学路の整備(新井線、赤城線など)
- 地域包括ケアシステムの推進
- 産業人材の育成⇔物づくり
- 鳥獣被害対策(広域的な取り組み)
- 災害に強い県土づくり(減災対策)
- 県営住宅シェアハウス化

元気な街づくり

- 産業団地の造成
- 江田天川大島線の整備促進
- 国道50号のバイパス計画の推進
- 上武国道、駒寄インターの拡充
- 前橋・玉村バイパスの整備促進
- 赤城山南面の観光振興(寛満洲の歩道整備)
- 元総社地区、区画整理事業推進
- 群馬総社駅の西口開設
- 粕川地区の産業誘致

芸術・文化・スポーツの振興にも取り組みます

- ぐんま温泉文化の世界遺産登録へ
- スポーツライミングと後線トレイルの整備促進
- マスターズ陸上全国大会開催



自由民主党
じょういち
中沢文一

本気でGO!

本郷たかあきプロフィール

1971年6月28日 前橋市朝倉町生まれ
前橋市立天川小学校卒業
前橋市立第五中学校卒業
前橋育英高校を卒業
現 前橋育英高校陸上部OB会会長
中央大学文学部卒業
陸上部キャプテンを務める
1994年 群馬県観光開発公社 入社
2006年 参議院議員 公設秘書
2011年 県議選前橋選挙区 出馬
2011年 衆議院議員 公設秘書
2012年 群馬県教職員組合 入局
2015年 群馬県議会議員

私にとっての素志は、政治を通して世の中をよくしたいと言ったことです。
「眼の前の今」「自分」だけでなく、将来世代のことも考えた幸福の実現こそが仕事だと考えています。

その4

真の働き方改革を実現し、ワークライフバランスが実現できる社会づくりをめざします。

本気で「働く現役世代」を
支援します!

その3

多様な価値観が認められ、共に助け合い、乗り越えていく共生社会をめざします。

本気で「共生社会の実現」に
取り組みます!

その2

すべての子どもたちの育ちを支援する社会をめざすとともに、あらゆる格差の解消を進めます。

本気で「教育・子ども・子育て」に
取り組みます!

その1

歳入に見合った予算編成を追求するとともに、安心して暮らせる社会の実現をめざします。

本気で「予算は人への投資」を
追求します!

本郷たかあきが
考える政策



無所属
ほんごう
本郷たかあき
47歳

推薦 立憲民主党群馬・国民民主党群馬・連合群馬

Facebook <https://www.facebook.com/hongoutakaaki>

本郷たかあき

検索

安孫子 哲 プロフィール

生年月日:1971年4月24日生(47歳)

略歴

- 前橋市立城東小学校 卒業
- 前橋市立第二中学校 卒業
- 群馬県立前橋第二高校(現 清陵高校) 卒業
- インターナショナルコンピュータカレッジ 卒業
- 高崎調理師専門学校 卒業
- 平成11年前橋活性化の会発足。
衰退する中心市街地問題に取り組む
- 平成17年 前橋市議会議員初当選(33歳)
- 平成21年 前橋市議会議員2期目当選
- 平成23年 群馬県議会議員初当選
- 平成27年 群馬県議会議員2期目当選

趣味
水泳・料理

強い×安全×安心⇒WE LOVE GUNMA

災害に負けない!

- 災害時にも止まらないライフラインの実現(水道・電気など)
- 県に対する前橋市の負担金を軽減し(県営第二水道)、節約できた財源を吸水管の入替工事に充てる(屈強なライフラインを!)
- 医療体制の整備 (医師・薬品類の確保)
- 災害対応LPガスバルクの設置 (ブラックアウト対策)

強いGUNMA

洗練された車社会!

- 死亡事故ゼロを目指す
- 高齢ドライバー対策
- 子ども虐待への対策
- 保育士の処遇改善

安全なGUNMA

- 歩道の設置、交通安全教室の推進
まずはワースト1からの脱却を!!
- 高齢者講習のスリム化
- 自動車教習所への支援

教育・育児問題に迅速な対応!

- 事態の把握と迅速な対応(虐待ゼロを目指した取り組みを推進)
- 所得の向上、休日の確保など

安心なGUNMA



自由民主党
あびごころ
47歳

前橋の声をまっすぐ県政に届けます

消費税10%中止!
9条改憲ノー!

大型開発よりも

Gメッセ群馬
350億円
(周辺整備費を含む)

7つの交通軸

10年間で3000億円。
今後も上信自動車道
など数千億円規模!

ハツ場ダム
249億円
(県負担)



財源はあります。
(財政力全国12位)
新年度予算7500億円

くらし・福祉・教育最優先!

- 学校給食費を完全無料化
- 30人学級を全学級で実施
- 介護の負担軽減
- 保育士の処遇改善
- パワハラ・セクハラ、過労死根絶へ
ブラック企業規制条例の制定
- デマンドバスなど公共交通の充実
- 住宅・商店リニューアル助成
- オスプレイ飛行中止・原発ゼロ



公費1兆円投入で国保税の大幅引き下げを
協会けんぽ並みに

私は、「政治を変えてほしい」という皆さんとともに、県民の切実な要求実現へ全力をつくしてきました。安倍政権のもとで社会保障は切り捨てられ、格差と貧困が広がっています。そんなときだからこそ、県政が県民を守る役割を果たすべきではないでしょうか。大型開発偏重、国いなりりの自民党県政と対決し、くらしと福祉、平和を守る先頭に立ち、とことんがんばります。

略歴 1965年生まれ。高崎高校、金沢大学卒。病院事務、しんぶん赤旗記者などを歴任。2011年より県議会議員(2期)。現在県議員。上新田町在住。



日本共産党
酒井
ひろあき



一人の声から政治を変える! 情熱と誠実!

これからの取り組み

1. 教育ぐんぐん群馬

- ◎奨学金の充実
- ◎スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの拡充
- ◎学習支援・整備の強化

2. 福祉いきいき群馬

- ◎救命救急体制の強化
- ◎#7119の開設(大人版緊急医療電話相談)
- ◎AYA世代ガン対策強化

3. 活力のびのび群馬

- ◎若者・女性・障がい者の雇用促進
- ◎前橋ロケ地・赤城山観光の促進
- ◎バリアフリー観光センターの創設

4. 安全あんしん群馬

- ◎道路・橋・建物の長寿命化
- ◎交通安全対策の強化
- ◎防災・減災対策の強化

みずの 水野としお

皆様の温かいご支援により、県議会4期目の挑戦をさせていただきます。

「一人の声から政治を変える」との決意のもと、全力で取り組んで参ります。

皆様の真心からの温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



公明党公認
水野としお
47歳

これまでの主な実績

1. ドクターヘリ、ドクターカーの導入
2. 中学校3年生まで医療費完全無料化
3. ぐーちょき・シニアパスポートの導入
4. ゾーン30の実施(県内53箇所・市内10箇所)
5. 全県立高校普通教室にエアコンの設置

プロフィール

昭和47年3月2日生(47歳)
創価大学大学院 修士課程修了
参議員議員秘書(9年)
群馬県議会議員 3期

役職: 公明党群馬県本部 幹事長

議会役職: 県監査委員

信条: 一人のひとを大切に

家族: 妻と子供4人(長男、次男、長女、三男)

推薦人 元県会議長 中村紀雄

「詳しくは、チャレンジ70」
http://www.challenge70.com

保守でも革新でもない...70の創造力・政策力・判断力で県の「意見番を目指します。」

私の自然体
拙いですが、私を動かすものは「知行合一」の教訓です。笑われるのも怒られるのも好きではありませんが、それを恐れて、流されるのはもっと好きではありません。思うに、大切なものは「在り方」です。情報化・AI(人工知能)化の時代に人間として何だか、どう在りたいか、既に、新しい心のデザインの時代が始まっています。前橋は他都市を犠牲に、いつまでも県に頼っている真の発展はない。私は貴方県に反対する。でも、貴方(お互い)の立場は尊重したい。例え、命を賭しても...そう考えられれば幸いです。

前高市であったなら、西毛県であったなら
街の発想力が違って来ます。双子の都市が同じに競うのではなく、違うに競い、補完し合って大都市になります。

「残されたテーマ「廃県」、それは「小さな群馬県」
不思議なことに、当然のことながらならない。情報と交通の革命に取り残されたもの、それが県です。館林も前橋もお互いが知らない街であり、前橋と高崎が合併し行政都市となるならば、何処に群馬県が必要でしょうか? 地域が発展して行くには県は障害であり、県の機能を縮小し、生活圏を優先し、むしろ、東京との関係を近づける必要があります。それが「廃県」の流がポスト平成の時代の流れとして考えます。

「12年前、廃官・廃県を訴え、自然体で」
12年前、私は県知事選に、誰もが目を疑う状況の中、廃官・廃県知事の4選防止を目的に、私以外の有力候補者への一本化(民間知事の必要性を訴える)に、立候補しました。何故なら、当時の知事5選+後継者4選で官僚政治が続くなら2027年度の20年間で2兆円(年間1000億)の無駄が経営者の私には見えなかったからです。官僚知事には自らの歩んだ道を否定することは困難であり、官僚が首長である限り、政治に活力を期待出来ません。事実、当時の知事は前の清水知事の時代の副知事・官僚であり、実績(無駄遣い)が証左です。当時、それを訴える責任は父の精神を継承する「私」にあり、命を賭しての戦いでもありましたが、幸い、流れは変わり、廃官が成就し民間知事が誕生しました。詳しくはホームページで。



無所属
清水澄
70歳

群馬県議会議員選挙

4月7日(日) 投票日

あなたの一票を大切に

平成31年 4月 7日
執 行

群馬県議会議員選挙(前橋市選挙区)選挙公報

群馬県選挙管理委員会

群馬県議会議員選挙

投票日

4月7日(日)



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」

～有権者の皆さまへ～

◎投票時間は、午前7時からです。

◎きじつぜん期日前投票制度または不在者投票制度を活用しましょう。

仕事や旅行などの理由で、投票日当日に投票できないときは、4月6日(土)まで期日前投票または不在者投票ができます。

期日前投票は、市役所や町村役場などで行うことができます。

詳しくは、お住まいの市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。

群馬県選挙管理委員会